

# 防災・防犯

## 工事開始前に補助金交付を 資金面で支障ないよう規則改正

### 自治会の防犯灯設置

荒木詩郎議員(民主クラブ)  
治安確保のためには、市内に約2万4千本あるといわれる防犯灯の更なる普及と維持管理が重要課題である。防犯灯の新設、建て替えに際し、市は自治会に設置費用の9割を補助しているが、補助金は工事終了後に交付される。工事開始前に補助金を交付できないか。

答 防犯灯への要望や苦情があれば調査し、設置基準に照らし、新たに設置するかどうかを自治会長に連絡をしている。自治会が費用全額を事前に支払うことが困難と判断した場合には、工事前に補助金が交付されるよう、防犯灯設置の規則を改正し、資金面で支障のないよう対応していきたい。



行徳駅前通り交差点

### FMラジオ局の災害情報

## 防災無線活用し放送の周知を 緊急時は最大音量で必要情報流す

岩井清郎議員(みらい)  
災害時、市民に必要な情報をFMラジオ局の市川エフエムを使って市民に伝達することになっているが、放送していることを市民が知らなければ情報伝達はできない。市民周知の方法として、防災無線の活用を以前質問したが、検討すると答弁であった。どのような

答 防災無線は市内185カ所に整備しており、緊急時には事前に決められたチャイム音を流した後、最大音量で必要な情報を放送する。緊急情報放送についても、市川エフエムで放送していることを市民に知らせる他、市民が混乱しないよう、あらゆる伝達手段を活用する。

### 旧江戸川船着場計画

## 緊急船着場計画の進捗状況は 21年1月から盛り土工事を開始

松井 努議員(緑風会)  
広尾防災公園近くに緊急用船着場が建設されると聞くと、旧行徳橋が老朽化し、地震など有事の際の使用が危ぶまれる中、地元住民にとっては非常に心強い限りである。船着場建設計画について、現在の進捗状況と最終的な施設の規模を問う。

答 地域の防災性向上を目的として千葉県が整備するもので、平成21年1月下旬頃から一部の盛り土工事を実施し、23年度の完成を予定している。

船着場の規模は延長約70mで、護岸から川側15mの範囲を埋め立てる予定である。なお、接岸可能な船は全長約30mまでである。

### 危機管理体制

## 実効性向上のための施策どのように 平時から災害想定し訓練等を実施

宮本 均議員(公明党)  
本市の危機管理体制については、おおむね良く出来上がっていると思うが、近隣の東京都や横浜市に比べ、災害対応を迅速・的確

答 まだまだ不十分な点がある。今後、危機管理体制をより一層実効性のあるものにするため、どのような施策をしていくのか。

答 災害対応を迅速・的確に推進し、市民の生命・身体・財産を保護することは行政の最大の任務と認識している。そのためには、全職員が一丸となって当たる必要がある。今後とも、平時から地震などの災害を想定し、訓練や研修を通じて、職員の災害対応スキルを向上させ、危機管理体制の強化を図っていく。

### 子供の安全対策

## スクールガードリーダー進捗状況は 21年度実施の意向を県に伝えている

大場 諭議員(公明党)  
子供の登下校時の安全確保には、学校を取り巻く地域力が重要であるが、自治会や子ども会に防犯対策の

答 本市では、スクールガードリーダー事業を平成21年度に実施する意向を県に伝えており、人材の紹介を県警に要請すると共に、退職教員の活用も考えている。

子供の安全を地域で支援する学校支援地域本部事業は、20年度に37小中学校区で研修会等を開催するなど、様々な活動を展開している。

# 道路・交通

### 市庁舎周辺の交通安全対策

## 北八幡郵便局前に信号機設置を 警察と共同で現地診断を実施

稲葉健二議員(緑風会)  
市庁舎前の国道14号では、最近も交通事故が起きている。その安全対策として、北八幡郵便局前に信号機を

答 北八幡郵便局前の信号機設置については、警察等と共同で現地診断を実施した。市としても信号機設置の要望を市川警察署に行っており、今後も働き掛けていく。また、八幡第3号踏切は、歩行者保護の観点から、踏み切り内の歩道部分の拡幅を含めて、京成電鉄と協議していきたい。

### 自転車事故の防止

## 自転車マナー条例で意識改革を 制定に向け様々な意見聞きたい

増田三郎議員(自由クラブ)  
本市では、自転車事故が全交通事故件数の40%以上を占め、県下で最も高い率となっている。小学生が高

答 自転車事故の減少には、年齢者に衝突した悲惨な死亡事故もあつたと聞く。自転車運転者の意識改革のため、自転車マナー条例を制定すべきではないか。

一つとして、自転車マナー条例を制定していくべきと考えている。今後は、市民や学識経験者など、様々な立場からの意見を聞いていきたい。

### 行徳駅前通り

## バイパスに右折信号機設置必要 県と県警察本部で協議を行っている

大川正博議員(公明党)  
交通安全対策のため、東西線行徳駅前通りからバイパス(主要地方道市川浦安線)を右折するための信号

答 機が設置が必要である事を過去3回質問した。しかし、進展がないまま、歩行者と車両との事故が発生し、県の安全対策への対応の遅さに怒りを感じる。県との協議

はどのようになっているのか。

答 平成19年9月、当該箇所死亡事故が発生したことから、現在、県と県警察本部とで、交差点の改良と右折信号機設置に向けた協議を行っている。21年6月に右折レーンの設置を伴う車道拡幅工事を予定していると聞く。今後も実現に向けて県に要望していく。

### 北国分駅のバリアフリー化

## エレベーター整備必要だが 21年度の予算化は調整中

松葉雅浩議員(公明党)  
北総線北国分駅のバリアフリー化については、これまで何度か一般質問で取り上げている。同駅には3

答 駅舎のバリアフリー化は、順次、計画的に整備を進めている。北国分駅については、北総鉄道と協議を進めており、現時点での市からの補助額は約4175万円となるが、21年度の予算化については調整中である。矢切駅については、市川市民の要望として、松戸市に伝える。